

R3年度 サンホセ日本人学校オンライン合同学習実践記録

※2021年4月～12月までの記録を掲載

小学部 1年

国語

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	興味・関心	粘り強さ	見通し	振り返り	対話の場	異文化理解	協力的解決	外部人材・施設活用	新たな課題	概念形成
							主体的な学び				対話的な学び					深い学び
5月4日	あいうえおのうた	間接	友達の色々な考えや言葉に出会う	・教師と児童の2人だけで「言葉探し」「あいうえおのうた」を作成してきた ・一人学級のため色々な言葉・考えに触れる機会が少ない	①動画でオリジナル「あいうえおのうた」を発表し合う ②お互いのうたに対する考えを交流	・交流を通して、新たな言葉にたくさん出会うことができた ・自分のお気に入りの箇所とは異なる箇所をほめてもらい、戸惑いながらも色々な考え方があることに気付くことができた										
5月26日	わけを はなそう	直接	グループ活動を通して互いに様々な考えに触れる	表情の絵を見て、どんな気持ちかを理由とともに意見交換する内容だが、一人学級のためできない	合同授業においてブレイクアウトでペアに分かれ、表情の絵を見ながら、それが表す気持ちや理由を伝え合う	同じ考えや異なる考えに対して感想を伝え合ったり、活動を通してコミュニケーションをとることができた	◎			◎						○
5月27日	わけを はなそう	直接	グループ活動を通して互いに様々な考えに触れる	表情の絵を見て、どんな気持ちかを理由とともに意見交換する内容だが、一人学級のためできない	①合同授業においてブレイクアウトで3人グループに分かれ、表情の絵を見ながら、それが表す気持ちや理由を伝え合う ②全体で「1年生の毎日」における気持ちとその理由を発表する	・前回の練習を生かして、自信をもって「1年生の毎日」というテーマに取り組むことができた ・グループ学習を通して色々な考えを知ることで楽しく活動できた	◎			◎						○

学活

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び				対話的な学び					深い学び
5月6日	なかよくなるう	直接	互いの顔と名前を知り、これからの交流へ向けて関心を高める	ビデオ録画での交流は行ったが、実際にどんな友達なのか、何が好きなかなどが分からない	①国語で学習した自己紹介の表現で互いに自己紹介 ②緊張を解し楽しく交流するためのジェスチャーや言葉遊びなどのゲーム	・国語で習った自己紹介の表現を実際に使うことができた ・楽しく活動することができ、また一緒に活動をしたという意欲付けとなった	○		○		○					○

図工

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び			対話的な学び			深い学び		
5月19日	お話を描こう	間接	同級生の作品を見て、良いところや工夫されていることに気付かせる	一人学級のため、作品の鑑賞ができない	AC校の同級生の描いた絵をファイルで鑑賞し、良かったところを動画で伝える	同級生の絵を鑑賞することで、新たな描き方に気づき、絵画への意欲が刺激された	○								○
5月19日	やぶいたかたちからうまれたよ	間接	同級生と自分たちが作った作品の、良いところや工夫されていることを伝え合う	一人学級のため、作品の鑑賞ができない	①互いに作品を写真や動画で撮影し、頑張ったところや工夫したところを発表し合う ②互いの作品の良いところを探し、動画で伝え合う	・同級生の作品を鑑賞することで、自分では思い浮かばなかった、形を生かした工夫を知ることができた ・自分の作品のがんばったところを伝えることで、自分の作品の良さに気付くことができた ・友達に褒めてもらうことで、達成感と次回への意欲が高まった	○								○
9月21日	お話から生まれたよ	間接													

道徳

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
6月9日	かぼちゃのつる	直接	児童が友達と役割演技をすることを通して考えを深める	自分のわがままからつるを伸ばすかぼちゃ、それを止めようとする動物たちの気持ちを多人数で考えさせ、自分とは異なる価値観に気付かせたい	①教師の範読を聞いて内容を図にしながら確認する ②かぼちゃのお面をつけてそれぞれの場面においてロールプレイを実施し、気持ちを話し合う	自分とは異なる意見が聞けたり、自分の考えを相手に伝えたりすることを通して、より様々な角度から考えを深めることができた。	○	◎	◎

生活

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び			対話的な学び			深い学び		
9月17日	学校探検・おもちゃの紹介	直接	お互いの自己紹介を通して仲良くなる	次週から1・2年生合同の生活科授業を行うが、まだお互いのことを知らない	1年生の国語で習った「好きなものを伝える」活動を活用したり、外国語で習った名前の言い方やlikeを使って自己紹介をする	・様々なアイスブレイクを通して互いにリラックスした雰囲気ができた ・次回の合同生活科への意欲付けとなった	◎		○		○				
9月21日	学校探検・おもちゃの紹介	直接	生活科で学んだことを発表する	・1年生は学校探検を1学期に行ったが、発表する機会がなかった ・AC校2年生はおもちゃを作ったがそれらについて発表する機会がなかった	①SJ校を知らないAC校の友達に写真を使って説明する ②質問に答える ③AC校のおもちゃについての参加型の発表を聞く	・聞き手を意識した発表ができた ・互いの学校の違いを知ることができた ・楽しく発表を聞くことができた ・相手に伝えるための工夫を考えるきっかけとなった	◎			○	○				○
9月24日	動くわくわくおもちゃの紹介	直接	生活科で学んだことを発表する	AC校2年生が再度製作したおもちゃを発表する機会がなかった	SJ1年生にも分かる説明と楽しく聞ける工夫をして発表してくれた。SJ1年生は集中して話を聞き、自分の要望も伝えた	集中して聞き、楽しくゲームに参加することができた	◎			○	○				○

R3年度 サンホセ日本人学校オンライン合同学習実践記録

小学部3年

社会

							興味・関心	粘り強さ	見通し	振り返り	対話の場	思考の場 （問題解決）	協力的な学び	外部人材・先生	新たな課題	概念形成
実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び			対話的な学び			深い学び			
6月14日	市の様子	間接	自分たちで調べた地域について理解を深め、その他の地域との違いや魅力に気付かせる	小学部1年から日本人学校で学んでいるため、日本の自分が住んでいた地域について知らないこと（覚えていないこと）が多い	①それぞれ自分の住んでいる地域の特色を調べ、まとめて伝え合う ②友達との地域と比較して、自分の地域の特徴や魅力について考えを深める	・異なる地域の発表を聞いて、自分たちが調べた地域の特色にさらに気付くことができた ・それぞれの地域にその地域特有の良さがあることに気付くことができた ・自分たちの発表についてコメントをもらってとても嬉しそうだった	○					○		◎		○
8月26日	私の街の特産作物！	間接	自分たちで調べた地域農業について理解を深め、その他の地域との違いや魅力に気付かせる	小学部1年から日本人学校で学んでいるため、日本の自分が住んでいた地域について知らないこと（覚えていないこと）が多い	①それぞれ自分の住んでいる地域の農業特産物を調べ、まとめて伝え合う ②友達との地域の農業特産物と比較して、自分の地域の特徴や魅力について考えを深める	・異なる地域の発表を聞いて、自分たちが調べた地域の特色にさらに気付くことができた ・それぞれの地域にその魅力ある特産物があることに気付くことができた ・自分たちの発表についてコメントをもらってとても嬉しそうだった	◎					○		◎		○
11月4日	わたしのスーパーマーケット！	間接	スーパーマーケットで皆さんが来てくれるための工夫について理解を深め、働いている人の努力や苦労に気付かせる	相手意識をもって発表することが苦手	スーパーマーケットの工夫をまとめ、プレゼンテーションをする	・相手が分かりやすい説明に仕方や順序を工夫することを身につけることができた ・伝え方を準備することで、よりスーパーマーケットのことについて理解が深まった	○					○		○		○

理科

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び			対話的な学び			深い学び			
5月11日	しぜんのかんさつ	間接	身の回りの自然の様子について関心を高める	サンホセ日本人学校敷地内の生物、自然の様子をAC校児童に紹介したいという意欲が高い	①iPad＋ロイロノートで作成したプレゼン資料を使って発表動画を撮影し、AC校に送る ②発表の感想をもらう	・ICT機器の活用能力が向上した ・学校の自然について考えを交流することができた	◎	○						○		

図工

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び			対話的な学び			深い学び			
9月7日	くるくるランド	間接	自分の作品の良さに気付く、新たな発想のきっかけを見出す	鑑賞の時間に色々な友達から意見をもらうことが難しい	共有ドライブ上で鑑賞を行い、感想を交流する	自分とは異なる見方や考え方に触れることで、自分の作品の良さや新しい表現方法により気づくことができた	○			○						

R3年度 サンホセ日本人学校オンライン合同学習実践記録

小学部4年

社会

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
6月14日	県の広がり	間接	自分とは異なる地域を調べた友達と、調べたことを伝え合い、比較することで、県の特色について理解を深めることができるようにする	・一人学級のため、調べたことをまとめても発表する同級生がいない ・発表や人の前に立って話すのが苦手 ・自分の出身都道府県について学習するだけでなく、他の都道府県とも比べたい	①自分の出身都道府県の特徴について調べ、まとめた発表動画を交流する ②互いの動画を視聴して、共通点や差異点を考える	・友達に発表を促められたり、良かったことや関心をもったことを伝えてもらったことで、発表への抵抗が少なくなった ・地形と土地利用の関係や、交通と人口の関係など、相手の調べた都道府県との共通点に気付くことができた ・自分の住んでいる都道府県が、人口や交通の規模において特別だということに気付くことができた	○		○◎
9月27日	地震からくらしをまもる	間接	自分とは異なる地域を調べた友達と、調べたことを伝え合い、比較することで、地震への対応や地域の人々の工夫について理解を深める	・一人学級のため、調べたことをまとめても発表する同級生がいない ・発表や人の前に立って話すのが苦手 ・自分の出身都道府県について学習するだけでなく、他の都道府県とも比べたい	①自分の出身都道府県の地震への対応について調べ、まとめた発表動画を交流する ②地震や津波が起きた際の自分の避難経路や避難場所を想定し、シミュレーションを伝える ③互いの動画を視聴して、共通点や差異点を考える	・発表を通して、伝え方を工夫したりとプレゼンテーション能力が向上した。 ・都道府県によって様々な地震への対策や取組みしていることを知ることでできた ・互いのシミュレーションを比べることで、地形や街の規模によって対応が変わることに気付くことができた。		◎	○
10月4日	地震からくらしをまもる	直接	実際に地震が起きたときを想定し、立場や視点を変えて多様な考え方に触れることで、地震の対応の難しさや、普段から心も準備しておかなければならないということに気付かせる	・一人学級なので同級生の、自分とは異なる考えに触れることがほぼない ・自分の考えを深めることが苦手で、考える視野も狭い児童数である ・考えを発表したり伝えたりするのが苦手	①AC校と地震シミュレーションゲームを行う ②立場（住民・避難所の職員・親・自分など）や視点（各判断のメリット・デメリットなど）を変えて意見交換をする ③グラレコカードを使って、話し合いながら自分の気持ちを相手に伝えることができた	・「グラレコカードで普段気持ちを表現できない児童も表現することができた ・様々な立場と視点からの意見が積極的に交わされ、「なるほど」と何度も反応していた ・判断に頭を悩ませる姿が多く、地震対応の難しさや大切さを実感できた	○	◎	○◎
10月11日	残したいもの 伝えたいもの①	直接	AC校の同級生とコミュニケーションを取りながら、地域の古くから残るものにも興味をもたせる	・一人学級なので同級生の、自分とは異なる考えに触れることがほぼない ・話し合いの経験が少なく、同級生とコミュニケーションをとることもほぼない ・先生の意見や発問を持ってしまい、自分から主張することが少ない	①各児童の出身都道府県にある「古くからあるもの」で遊び替えゲームを行う ②シンキングツールで視点を交えて古くからあるものを遊び替える ③児童画に異なるヒントカードを配布する ④ファシリテーターカードを使用し、ファシリテーターを務めさせる	・「古くからある」のがどれくらい昔なのか、興味を高めることができた ・視点を交えることで、自然に思考が深まっていた ・ファシリテーターカードを使うことで、児童画中心に話し合いを進めることができた ・ヒントカードによって全員が話し合いに参加することができた	◎○	◎	○◎
11月24日	残したいもの 伝えたいもの②	間接	自分の地域で古くから受け継がれているものを調べ、その内容と人々の思いを発信し合うことで、伝統的なものの大切さに気付く	・同級生に発表したり、同級生の発表を聞く機会に乏しい ・自分の調べたものしか分らず、他の地域の特色についても知りたい欲求がある	自分の地域の伝統的なものをまとめたプレゼンテーション動画を交流する	・地域によってその特色にあった伝統的なモノがあることに気付けた ・それぞれの伝統にそれぞれの人の思いがあることがわかった ・自分の地域の伝統と比較し、相違点や類似点に気付けた	◎		○◎
11月25日	残したいもの 伝えたいもの③	直接	古くから受け継がれてきたものを残していくことがなぜ大切なのか、その根本を問ひ、社会的現象と自己とのつながりを強くする	・話し合いの経験が少なく、同級生とコミュニケーションをとることもほぼない ・自分の画にある伝統的なものについて調べてまとめたため、漠然と伝統を受け継いでいくことの大切さを感じてはいる	①「探求の対話」で『私たちが残していきたいモノってなんだろう』をテーマに話し合う ②シンキングツール「モグラチャート」を活用し、新たな問いを立てながら、テーマについて深掘りしていく	・話し合いを通して、なぜ受け継がれてきたものが大切なのか、その価値について考え、自分なりの答えを出すことができた ・話し合いの流れやルールを理解し、相手の意見をしっかりと聞いて発言することができた	◎	◎	◎◎
12月3日	残したいもの 伝えたいもの④	直接	伝統的なものを未来に残していくために様々な角度から方法を考え、提案をする。	・話し合いの経験が少なく、同級生とコミュニケーションをとることもほぼない ・自分の地域の伝統意識がなくなってしまうことを嘆き、なんとかしたいと考えつつも、良い提案が浮かばず固まっている	①「受け継いできた伝統的なものを未来に受け継いでいくためには、どうしたらいいのだろうか」という課題のもと、あらかじめ各校で考えておいた書き手を確保するための提案を確認する ②提案を『6つの獅子思考法』で話し合い、より良い提案にしていく	・広い視点で提案を検討することができたため、新たなアイデアがたくさん生まれた ・児童の考えの幅が大きく広がったことが見取れた ・自分たちの取組みが社会をより良くすることができるのかもしれないという、社会的課題への自己有用感が高まった	◎○	◎	○◎◎

その他

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
6月10日	自己紹介	間接	自己紹介を通して、交流に向けての関心を高める	本校児童は今年度転入した児童であり、A・C校児童との交流イメージがつかめていないため、不安な気持ちが強い	自己紹介動画をGoogleドライブで共有した	・イメージしていたよりも気負わずにできるといふ実感をもつことができた ・不安感を軽減できた	◎		

国語

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
9月3日	新聞を作ろう	直接	事実を分かりやすく報告するために、新聞の中にどのような工夫がされているのかを学ぶ	一人学級のため、対話によるコミュニケーションや他の児童の考え方に触れる機会がない	①両校の児童が作成した新聞の内容について説明する ②自分とは違う表現の仕方や興味深い内容についてメモをとる ③不明点を質問したり、感想を伝えたりして、その場で発表に対するフィードバックを行う	相手意識が芽生え、次の新聞づくりへの意欲が高まり、新聞の内容についてもアイデアが膨らんだ	◎	◎	○
10月15日	新聞を作ろう②	直接	前回の発表を活かし、相手の興味をひき、さらに分かりやすい表現の仕方学ぶため	前回は1回目の新聞の交流を行い、他校児童の表現の工夫に気づくことができた。その気づきを自分の新聞作成にいかにか活かすことができるのか試行錯誤している状況である	①両校の児童が作成した新聞の内容について説明する ②図や表、見出しの言葉等、相手に効果的に分かりやすく伝えている箇所に着目させる ③不明点を質問したり、感想を伝えたりして、その場で発表に対するフィードバックを行う	・楽しさの伝え方と、根拠を示す場合の伝え方の違いを知ることができた ・前回の授業での気付きを取り入れた新聞について、相手校の児童からよかった点として感想が出たことで、本校の児童の主体的な学びにつながった	◎	○	◎
11月12日	新聞を作ろう③	直接	前回の発表を活かし、相手の興味をひき、さらに分かりやすい表現の仕方学ぶため	総合的な学習の時間や教科で学んだことを新聞形式でまとめることに慣れていたことで、他の児童の新聞と比較することで、内容に応じて相手に伝わりやすいまとめ方とはどのようなものかについて取り組んでいるところがある	①両校の児童が作成した新聞の内容について説明する ②視覚的に分かりやすい箇所と、内容的に伝わりやすい箇所に着目させる ③不明点を質問したり、感想を伝えたりして、その場で発表に対するフィードバックを行う	・質問を受けることで、記事に不足していた情報に気づくことができた ・回数を増すごとに、新聞形式でまとめることに対して主体的になった	◎	○	◎

図工

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び			対話的な学び			深い学び		
9月7日	積み上げろ！粘土！	間接	自分の作品の良さに気づき、新たな発想のきっかけを見出す	鑑賞の時間に色々な友達から意見もらうことが難しい	共有ドライブ上で鑑賞を行い、感想を交流する	自分とは異なる見方や考え方に触れることで、自分の作品の良さや新しい表現方法により気づくことができた	○		○						

R3年度 サンホセ日本人学校オンライン合同学習実践記録

小学部5年

学活

							興味・関心	粘り強さ	見通し	振り返り	対話の場	思考の深化 （問い）の 共有	協力的解決 （問い）の 共有	外部人材・先生	見方・考え方	新たな課題	概念形成
実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び			対話的な学び			深い学び				
11月18日	Zoom de お楽しみ会①	直接	交流を通して互いの理解を深める	・小5学年がいないため、AC校の5年生との直接交流を進めてこれなかった ・AC校児童との交流をより深めたいという思いをもっている	①Zoomでも楽しめるようにゲームの内容を工夫し、企画・進行をする ②進行をする ③みんなで協力して取り組める遊びを通して、友達への理解を深める	・Zoomでもみんなが楽しめる会を行うことができた ・活動を通して友達のことをさらに知ることができた ・今後の合同学習に期待感をもつことができた	◎						○				

R3年度 サンホセ日本人学校オンライン合同学習実践記録

小学部 6年

国語

興味・関心	粘り強さ	見通し	振り返り	対話の場	思考の場	協力的解決	外部人形	新たな課題	概念形成
-------	------	-----	------	------	------	-------	------	-------	------

実施月日	単元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
4月28日	自己紹介	間接	今後の交流へ向けて関心を高める	・児童が同学年のAC校児童の様子を知りたがっている ・児童が今年度も直接交流がしたいと願っている	自己紹介動画をGoogleドライブで共有	・これからの交流への意欲が高まった ・どんな関わり方をしたいか考え始めた(休み時間のおしゃべりやお絵かき、ダンスなど)	◎		
5月11日	聞いて、考えを深めよう	直接	自分の考えを深めるために、どんな聞き方をすれば良いのか学ぶ	・一人学級のため、話し合いをする機会を設定することが難しい ・同学年の話聞いて、自分の考えを深める活動ができない	①T1とT2の話し合いモデルを見せる ②考えを深めるために話の聞き方について、児童とルーブリックを作成	・話の聞き方の視点をもちつことができた ・話し合いの見通しをもつことができた ・児童の意見を反映した「話の良い聞き方」ルーブリックを作成できた	○	○	○
5月14日	聞いて、考えを深めよう	直接	自分の考えを深めるために、どんな聞き方をすれば良いのか学ぶ	・一人学級のため、話し合いをする機会を設定することが難しい ・同学年の話聞いて、自分の考えを深める活動ができない	①児童同士で話し合える場の設定 ②「話の良い聞き方ルーブリック」を提示し、話し合いを深める意図付け ③「話の良い聞き方ルーブリック」をもとにした話し合いの振り返り	・自分の考えを深めていけるように、相手の意見を促したり、質問したりしながら話し合いを進めることができた ・自分の話の聞き方をふり返り、良かった点やもっと頑張りたい点を見付けることができた。		○	○
5月18日	聞いて、考えを深めよう	間接	自分の考えを深めるために、どんな聞き方をすれば良いのか学ぶ	・同学年の話聞いて、自分の考えを深める活動ができない ・自分の考えを同学年児童に発表する場がない	①前時の話し合いで深まった自分の考えをまとめ直し、その発表動画を送り合う ②友達で話し合いを通してどのように考えを深めたのかを動画を通過して学ぶ	・自分や友達の考えの姿を踏まえて、考えを深めるための聞き方の大切さを実感することができた ・考えを深めるための話の聞き方について、これからの学習で気をつけていきたいことや大切にしていきたいことを意識する態度が身に付いた。		○	○
8月24日	私と本	間接	友達と本の紹介をし合うことを通して、自分の考えをまとめたり、広げたりする	同学年児童がいないため、同世代の児童がどのような本に興味をもっているのか、また本に対してどのような考え方をもっているのかなど多様な見方や考え方に触れることができない	①紹介したい本について、その本のテーマや魅力をまとめた発表動画を送り合う ②相手の発表動画を観て、感想動画を送り合う	・自分の考えの姿を踏まえて、考えを深めるための聞き方の大切さを実感することができた ・考えを深めるための話の聞き方について、これからの学習で気をつけていきたいことや大切にしていきたいことをもちつことができた。	○	○	○
8月31日	いちばん大事なものは	直接	質問を通して相手の考えを広げたり、深めたりすること	「話す・聞く」における対話の練習となる単元ではあるが、一人学級のため相手の考えを広げたり深めたりするための話し合いの仕方を同学年児童と実践することができない	①モグラ式チャートを活用した話し合いの場を設定する ②ワードを活用しながら相手に質問することで、相手の考えを深めたり広げたりできるようにする ③質問に答えながら、自分の考えを深められるようにする	・質問をすることで、相手の考えをより深く知ることができることを実感していた ・相手の質問に答えることで自分では気づけないことに気づくことを実感していた		○	○

社会

実施月日	単元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
5月25日	縄文のむらから古墳のくにへ	直接	様々な視点に気づき、楽しく歴史学習をスタートさせたい	・一人学級であり、自分以外の同級生の視点や感覚に触れる機会がほとんどない ・ゲーム形式の授業も一人学級だと面白味に欠けることがある ・振り返りの基準が定まらず、自己肯定感の低い結果になることが多い	①「歴史！ハッケン！ゲーム」 →縄文時代における人々の生活の様子を描かれた資料から特徴を読み取る → またはXチャートを活用 →友達で気付いていないことと得点UP →重要なポイント「ドキリ！ポイント」は高得点 ②ルーブリック型学習振り返りシート 「学びの構造図」の活用	・友達の発表から、児童が自分では気付かなかった新たな視点に気付くことができた ・友達と一緒にポイント獲得に向けて取り組みむことで楽しく学習することができた ・ルーブリックで自分の設定した目標に向かって努力することができた	○	○	◎
5月26日	縄文のむらから古墳のくにへ	直接	友達の多様な意見を聞くことで、読み取りの視点を豊かにしたい	・一人学級であり、自分以外の同級生の視点や感覚に触れる機会がほとんどない ・ゲーム形式の授業も一人学級だと面白味に欠けることがある ・振り返りの基準が定まらず、自己肯定感の低い結果になることが多い	①「歴史！ハッケン！ゲーム」(チーム戦) →弥生時代における人々の生活の様子を描かれた資料から相談しながら特徴を読み取る →重要なポイント「ドキリ！ポイント」は高得点 一編文時代と比較する ②FTカード(ファシリテーターカード)による児童中心の授業展開 ③ルーブリック型学習振り返りシート 「学びの構造図」の活用	・友達の発表から、児童が自分では気付かなかった新たな視点に気付くことができた ・友達と一緒にポイント獲得に向けて取り組みむことで楽しく学習することができた ・前時の内容と比較する視点をもって相談することができた ・ルーブリックで自分の設定した目標に向かって努力することができた	○	○	◎
6月7日	縄文のむらから古墳のくにへ	間接	単元の学習を自分の言葉でまとめ、時代の特徴を振り返ると同時に表現力を身に付けさせる	・同級生のまとめたものを見た、聞いたりする機会がない ・誰かに読んでもらうという意識をもってまとめを書く習慣がない	①ロイロノートで歴史新聞(縄文～古墳時代)を作成し、時代の特徴や自分の感想をまとめる ②互いに学習のまとめを読み合う	・各時代の特徴を再認識できた ・読み手を意識し、人々の生活の移り変わりを分かりやすく説明できた ・友達のまとめを読んでも、自分とは異なる視点に気づくことができた	○	◎	
9月17日	戦国の世から天下統一へ	直接	歴史上の人物の活躍について、多様な視点で考え、自分なりの解釈をまとめる	信長と秀吉のどちらが優れた武将か考えたいが、友達の考えを聞けないので、一方的な考えになってしまう可能性がある	①両校それぞれの児童で信長と秀吉について調べる ②信長と秀吉がどちらが優れているかを考えるために、モグラチャートを用いて2人の武将について問い立てし、話し合う	・問いを立てなければ考えなかった内容について意見交換をしながら考えることができた ・改めて2人の武将のやったことやそのねらいを学ぶことができた	○	○	○

学活

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
6月1日	Zoom de お楽しみ会	直接	交流を通して互いの理解を深める	・一人学級のため同学年児童との関わりがない ・AC校児童との交流をより深めたいという思いをもっている。	・Zoomでも楽しめるような工夫されたゲームの企画・進行をさせる ・協力して遊びに取り込むことを通して互いの理解を深める	・楽しく会を実施することができた ・活動を通してより互いのことが知れた ・今後の合同学習への期待感を高めることができた	◎		○
11月11日	Zoom de お楽しみ会②	直接	ICT機器の特性を生かしてゲームを工夫し、楽しむことができる	・一人学級のため同学年児童との関わりがない ・AC校児童との交流をより深めたいという思いをもっている。	・Zoomでも楽しめるような工夫されたゲームの企画・進行をさせる ・協力して遊びに取り込むことを通して互いの理解を深める	・zoomでもみんなが楽しめる会を行うことができた ・活動を通して友達のことをさらに知ることができた ・zoom画面での見え方を踏まえた楽しめるゲームを考えることができた	◎		○

総合

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
6月10日	いつでも、どこでも、誰とでも！ 私たちのミッション SDGs！！	間接	・発表に向けた資料の作成や発表を通して、SDGsについての考えを深める ・SDGsについて広く知ってもらう ・SDGsでの学びを効果的に発表できる場を設定する	・一人学級のため、学習したことを同学年に伝える場がない ・同学年児童からの感想をもらえない	・SDGsの学びを効果的に発表するために、発表を3段階設定する ①「つかむ」段階 基本時 ②「調べ・まとめる」段階 ③「ふり返る」段階 ・学習内容を紹介する資料を作成し、発表の様子を録画する ・動画を見てもらい、感想をもらう	・これからの学習に対して興味関心や意欲が高まった ・資料作成を通して、SDGsの概要について理解を深めることができた	◎	○	○

道徳

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
6月21日	ロレンゾの友達	直接	互いに信頼し、助け合って、より良い人間関係を築いていこうとする実践意欲と態度を、児童の話し合いを通して育てていく。	一人学級のため ・同学年児童の考えに触れたり、伝えたりすることができない ・同学年児童とともに、話し合いを通して自分の考えを深めることができない。	①自分ごととして捉え、問題解決の場を設定する（もしロレンゾが来た時に友達としてどのような対応をえるべきか） ②Googleドキュメントを使用し、児童同士が互いの考えを見えるようにする	考えを伝え合うことを通して、いろいろな友達の在り方があることに触れられ、友達について自分なりの考えをもつことができた			○
9月27日	ふつうってどういうこと？	直接	「ふつう」とは何か？を考えることを通して、自分の特徴を知り、自分の良さを伸ばしていくことの大切さに気付くことができる	一人学級のため、 ・同学年児童の意見や考えに触れたり、伝えたりすることができない ・同学年児童と共に、話し合いを通して自分の考えを深めることができない	①NHK動画「Q」を視聴し、「ふつう」について考えるきっかけを持ったり、「ふつう」に対しての考えを広げたりする ②もぐらチャートを活用した話し合いを通して、自分の考えを深められるようにする	話し合いを通して、初めと終わりとして「ふつう」についての考え方に深まりや変化が見られた		○	○
10月11日	「働く」ってどういうこと？	直接	人は何のために働くのかを考え、働くことの意義を理解し、公共のために役立つとする実践意欲と態度を育てていく	一人学級のため、 ・同学年児童の意見や考えに触れたり、伝えたりすることができない ・同学年児童と共に、話し合いを通して自分の考えを深めることができない	①教材文を通して、実際に働く人はどんなことを大切にしているのかを知ることができるようになる ②もぐらチャートを活用した話し合いを通して、自分の考えを深められるようにする	話し合いを通して、働くことは人のため、誰かのためにになっていることに気づくことができた ・職業を選んでいく上で、何を大切にしたらよいのかを考えることができた	○		○
10月14日	★コスモスの花 (SJ T1 研究授業)	直接	互いに信頼し、助け合って、より良い人間関係を築いていこうとする実践意欲と態度を、児童の話し合いを通して育てていく。	一人学級のため、 ・同学年児童の意見や考えに触れたり、伝えたりすることができない ・同学年児童と共に、話し合いを通して自分の考えを深めることができない	①1学期に行った「ロレンゾの友達」についての振り返り導入で見せ、友達についての自分の今の考えを再認識できるようにする ②もぐらチャートを活用した話し合いの場を設定し、児童が主体的に主題に迫りながら自分の考えを深めていけるようにする ③Googleドキュメントで振り返りシートを作成し、振り返りの際に児童同士がお互いの内容を見られるようにする	・友達に対する複雑な思いも踏まえ、友達とはどのような存在かを話し合いを通して考えることで、1学期よりも友達に対する見方や考え方に深まりが出た ・よりよい友達関係を築いていくために大切なことを考えていくことができた	◎	○	◎

音楽

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
10月12日	メヌエット	間接	アンサンブルを楽しませたい	複式で音楽を行なっているが、6年生は1人1人たため友達の音色に重ねて楽しむアンサンブルが行えない	アグアス校の6年生が事前にメヌエットリーダーのA1パートとA2パートを動画で録画し、サンホセ校の6年生がそれに合わせながら練習し、アンサンブルを録画する	互いの発表を通して、相手に伝えるための工夫を考えるきっかけとなり、相手意識をもった発表をすることができた	◎	◎	◎

図工

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
9月7日	穴を覗くと…	間接	自分の作品の良さに気づき、新たな発想のきっかけを見出す	鑑賞の時間に色々な友達から意見もらうことが難しい	共有ドライブ上で鑑賞を行い、感想を交流する	自分とは異なる見方や考え方に触れることで、自分の作品の良さや新しい表現方法により気づくことができた	○		○

R3年度 サンホセ日本人学校オンライン合同学習実践記録
中学部1年
その他

R3年度 サンホセ日本人学校オンライン合同学習実践記録											興味・関心	粘り強さ	見通し	振り返り	対話の場	思考力・判断力・表現力	協力的な学び	主体的な学び	新たな課題	概念形成	
中学部1年 その他																					
実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び			対話的な学び			深い学び								
5月3日	自己紹介	間接	互いの顔を知り、今後の交流への関心を高める	AC校との交流に緊張しており、どんな同級生がいるか気になっている	自己紹介動画を共有ドライブで共有し、互いの顔と名前、好きなものなどを知れるようにした。	相手のことが分かり、安心感と今後の交流への意欲が高まった。	○														

国語

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び			対話的な学び			深い学び		
5月20日	情報を整理して書く	間接	読み手に伝わりやすい構成を考えて説明する（書く）ことができる	・一人学級のため、校内では同級生に伝えたり読んでもらうことができない ・情報の集め方や整理の仕方が他と比べられない ・同級生が説明したことを聞いたリ、書いた文を読んだりすることができない	①動画やPDFで発表または作文を伝え合う ②マッピングやベン図などシンキングツールを用いた情報整理について、その過程も共有する	・同級生の作文を分析し、情報の整理方法や構成、表現に関心をもつことができた ・同級生からの感想に喜び、伝える楽しさを味わうことができた ・どのような書き方がどのような印象を与えるか気付くことができた	○		○	○			○		○
6月30日	話の構成を工夫しよう	直接	スピーチ会を開き、どのような話し方や聞き方が大切なのかを考える	・話したり聞いたりすることが苦手な、どのようにすれば良いか分からない ・一人学級なのでスピーチ会を開いても同級生に聞いてもらえない ・上記の理由から、同級生の話し方や聞き方に触れる機会がない	①合同で「話す・聞く」ルーブリックを作成し、目指す姿を明確にする ②合同の「スピーチ会」を開いて好きなものについて伝え合い、聞き手を巻き込む話し方や適切な聞き方を実践する	・ルーブリックで掲げた目標に向けて、話し方や聞き方を工夫することができた ・同級生のスピーチや聞く姿に触れることで、それぞれの良さを感じられた ・複数の同級生にスピーチを聞いてもらい、感想をもらうことで話すことや聞くことに自信をもつことができた			○	○	○	㊦	○		㊦
9月8日	読書を楽しむ	間接	本の魅力が伝わるように表現を工夫することができるようにする	自分なりに工夫して言葉や文章で表現するが、比較する相手がいないので工夫のイメージが広げられない	①本の魅力表現する「ポップ」を作る ②作ったポップをお互いに見て、感想を交流する	・自分とは異なる表現で作成したポップを見ることで、新しい言葉の使い方や文章の表現の仕方に気付くことができた ・自分のポップを評価されることで、嬉しい気持ちと、表現への意欲向上につながった	○	○		㊦		○		○	○
9月21日	星の花が降るころに	間接	物語のその後を想像し、情景を表現しながら書かせたい	・自分の言葉で文章を書くのが苦手 ・情景の表現を読み取るのが苦手	①AC校生徒の創作した物語その後の「第五場面」を読んで、情景や工夫点を読み取る ②それらを基に自分でも「第五場面」を創作する	・友達の物語を書き方のモデルとして参考にすることで取り組みやすくなった ・友達を物語を分析することで、特に情景の表現の仕方を知った ・自分でも情景を表現した独自の「第五場面」を書くことができた	○	○	○			○		○	
9月22日	根拠を示して説明しよう	間接	読み手に伝わりやすい構成を考えて説明する（書く）ことができる	・一人学級のため、校内では同級生に伝えたり読んでもらうことができない ・根拠の示し方について多様な方法に触れられない ・同級生が説明したことを聞いたリ、書いた文を読んで聞かせる機会が少ない	①「Youtubeの視聴時間と学力の関係」について、データを集め、レポートを書いてAC校生徒に読んでもらう ②説得力のある構成になっていたか感想を交流する	・説得力のある資料を選んだり、根拠を示した説明の仕方を考えたりと、客観的な視点をもってレポート作りを行えた ・自分では気付かなかった論理の穴を指摘されることで、新たな視点をもってレポートを修正することができた	○	㊦					○		

社会

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び			対話的な学び			深い学び		
6月1日	世界の気候と地域	間接	学習したことを発信することを通して、学習内容の振り返りと定着を図る	・一人学級なので発信する機会が少ない ・相手意識をもって発表する姿勢がなかなか身に付かない	「住んだら面白そうな世界の地域ベスト3」を作り、衣・食・住・その他の視点で発表した動画を見てもらう	・相手の発表を聞くことで学習内容を振り返ることができ、知識が定着した ・伝えやすい工夫を考え、言葉や資料を厳選することができた ・友達の考えを聞いて、新たな興味と見方が身に付いた	○			㊦					㊦

R3年度 サンホセ日本人学校オンライン合同学習実践記録

中学部2年

その他

興味・関心	粘り強さ	見通し	振り返り	対話の場	思考力・問題解決力	協力的解決	外部人・他者	見方・考え	新たな課題	概念形成
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

社会

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
5月8日	自己紹介	間接	互いの顔を知り、今後の交流への関心を高める	AC校の同学年に関心があり、どんな生徒がいるか知っていた	自己紹介動画を共有ドライブで共有し、互いの顔と名前、好きなものなどを知れるようにした。	相手のことが分かり、今後の交流への意欲が高まった。	○		
5月20日	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	間接	織田信長と豊臣秀吉が行ったことや、その影響について理解を深めさせたい	・歴史上の人物に関する知識が定着しづらい ・同級生に発表する機会が少なく、クラスメイトがずっと変わっていないため、マンネリ化する面がある	①「秀吉vs信長」プレゼンバトルを行う ②プレゼン動画を送り、「どちらの方がすごい武将か」相手校の同級生に判定してもらう	・緊張感と意欲が高まり、調べ学習に熱心に取り組むことができた ・相手に伝わりやすくするために表現の工夫を考えることで、さらに理解が深まった ・同級生や上級生に褒めてもらい、満足度が高い様子だった ・上級生に新しい知識を教えてもらった	○	○	○
6月8日	産業の発達と幕府政治の動き	間接	江戸幕府の財政難解決に向けて先人たちが行った政策について多面的に検討する	・長年固定された少人数学級なので、意見の広がりに変化が少ない ・歴史的事象を現代の視点から考える場を設定したい	①享保・寛政・天保の改革や田沼の政治について、現在の視点からその有用性を検討する ②検討した内容を発信し、意見をもらう ③改めて4つの政策の有用性を考える	・内輪で理解し合うのとは異なり、外部に発信するという点で、言葉を選び、分かりやすく内容をまとめて発信することができた ・AC校の考え方を聞くことで、新たな視点や考え方が広がり、改革の捉え方が深まった		○	○

英語

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
6月7日	自己紹介スピーチ	間接	自分の住んでいる環境を知らない相手に対して、分かり易い自己紹介スピーチを行う	コスタリカの国のことをよく知らないメキシコの生徒に、コスタリカのオスメメの場所や、自分の好きなことを紹介したいという意欲が高い	①アグアスカリエンテス校の紹介ビデオを視聴し、相手が興味のある内容を知る ②既習表現の(When, I)などを活用して、コスタリカのおすすめの場所や自分の自由時間に関することなどを含めた紹介文を作る ③作った英文をもとに、キーワードでスピーチできるように練習する ④分かりやすい視覚資料を用意し、視線を向けながらスピーチを行う	・画面越しではあるが、違う国に住む相手に向けたスピーチだったため、相手意識を持ったスピーチにすることができた ・質問に答える形で、既習表現の接続詞を効果的に活用できた		○	○
11月23日	話す「質問したり、伝え合おう」	直接	即興で英語でお互いに情報を伝え合う	同じメンバーで英語学習を進めているため、あまり説明をしなくても分かり合える状況がある。そのため様々な話す活動を通して、即興で伝え合う場面を体験する	①相手に優しい英語でセントを伝えながら説明し、聞いている人が当ててWhat's this? フォームアップゲーム ②絵を使った2択クイズ ③学校に関する質問 以上のステップを踏んだ話す活動の実施	・様々な活動を通して、伝わりやすい声や話すスピードを考えて話す場面が見られた ・相手校もマイクスピーカーがないと音声伝達が難しい	○	○	○

国語

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
10月5日	立場を尊重して話し合おう①	直接	話の展開から、質問を続ける(アイスブレイク)	・生徒数が少なく固定した仲間との意見交換しきれないため、多様な考えに触れる機会が少ない ・次時から「立場を尊重して話し合おう(討論で多角的に検討する)」の単元に入る。本時はそのウォーミングアップとする	①互いに交流を感じられるような順番を設定する ②質問の仕方について、事前に共有する	・全員「楽しかった」という振り返りだった ・次時からの学習につなげていくことができた	○		
10月12日	立場を尊重して話し合おう①	直接	「討論」をすることへの見通しを持つ	・生徒数が少なく固定した仲間との意見交換しきれないため、多様な考えに触れる機会が少ない ・これまでに討論を行なった経験はあるが、通訳授業においては初めてになる	①討論モデルをT1とT2を行う ②ジャムボードを使って良かった点の共有 ③討論をするためのメモと事前の準備をジャムボードで提示 ④次時のテーマの確認	T1とT2の発言の良さに着目し、次時からの見通しをもつことができた	○	○	
10月13日	立場を尊重して話し合おう②	直接	異なる立場を想定しながら情報を整理し、互いの立場を尊重しながら討論をする	・生徒数が少なく固定した仲間との意見交換しきれないため、多様な考えに触れる機会が少ない	①例題を元に、賛成反対の立場から理由を選択できるようにした ②実際の討論に向けて、いくつかの資料を提示した ③アグアスとは異なり、サンホセは登校できているという環境を生かし、個別の支援をする	・例題で、生徒たちは賛成、反対の立場からの理由を説明することができた ・資料の読み取りの支援を行うことで、生徒が意見を明確にするための準備ができた		○	
10月14日	★立場を尊重して話し合おう③(SJ T2 研究授業)	直接	異なる立場を想定しながら情報を整理し、互いの立場を尊重しながら討論をする	・生徒数が少なく固定した仲間との意見交換しきれないため、多様な考えに触れる機会が少ない	①ブレイクアウトルーム機能を使って、賛成派と反対派に分かれて話し合いを行う ②グループの話し合いの際、ジャムボードを使って共有できるようにした	・「賛成派」「反対派」に分かれて意見の交流を行いながら、討論会の準備を進めることができた ・深めていくことの難しさは、課題として残った		○	
10月19日	立場を尊重して話し合おう	直接	異なる立場を想定しながら情報を整理し、互いの立場を尊重しながら討論をする	・生徒数が少なく固定した仲間との意見交換しきれないため、多様な考えに触れる機会が少ない	①見通しをもたせる(目標、メモ) ②司会原稿を司会者に渡す ③発言者を画面に映す	・全員「楽しかった」という振り返りだった ・次時からの学習につなげていくことができた		○	○
10月21日	立場を尊重して話し合おう	直接	討論を振り返り、自らの学びを実感する	・生徒数が少なく固定した仲間との意見交換しきれないため、多様な考えに触れる機会が少ない	①討論会の振り返りを行う際、ポイントをピックアップして動画を全員で視聴した ②授業後アンケートを取り、成果と今後の計画につなげた	・「楽しかった」「またやってみたい」「勉強になった」という振り返りだった。一人ひとり、話し合いの仕方について学ぶことのできる貴重な経験となった		○	○

R3年度 サンホセ日本人学校オンライン合同学習実践記録

中学部1・2年

道徳

R3年度 サンホセ日本人学校オンライン合同学習実践記録							興味・関心		粘り強さ	見通し	振り返り	対話の場	思考力・問題解決力	協力的な学び	外部人材・先生	見方・考え方	新たな課題	概念形成
中学部1・2年																		
道徳																		
実施月日	単元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び			対話的な学び			深い学び					
6月16日	心に郷土を刻もう	間接	郷土の伝統を大切に し、先人への尊敬の念 を深め、自らも郷土の 発展に努めようとする 態度を育てる	・国や家庭の事情から自 分の郷土に思い入れが少 ない生徒がほとんどであ る ・普段から考え方に偏り がある生徒が多い	①教科書に登場する広島県宮島郡に 携わる職人とメールを通して関わり をもち、内容を身近に感じてもらう ②「探求の対話」を通して、自己や 他者の考えを振り返り下げ、根本から考 え直す ③両校の考えを交流し、職人に思い を伝える	・職人と繋がることで具体的な資料提示な どができ、より関心をもって活動に取り組 むことができた ・友達の考えや問いに対して改めて自分の 思いや感覚を見つめ直すことができた ・「他人ごと」であった郷土問題を「自分 ごと」として捉えることができた ・郷土に強い関心を抱き、自分のこれから に結びつけることができた	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	

数学

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
6月23日	文字の式	直接	問題解決に文字を用いていこうとする態度を養う	・文字は数に比べて抽象度が高く、生徒にとって抵抗感が強い ・中1は半学期、中2は3人学級のため学び合いの時間を設定することが容易ではない	①合同授業において、お互いを認め合い、自分の言葉で説明し伝え合う数学的活動を通して、深い納得を与えられるように展開する ②中1～中3が同じ学習問題を考えて話し合うことで、様々な考え方があることを実感させて学習意欲につながる	・緊張した様子があったが、普段とは異なる多人数による学習を通して、多様な考え方があることに気付くことができた ・学年の異なる生徒の意見を聞くことで、自分の学習がどのようなにつながっていくか見通しと興味をもつことができた	○	○	○
6月28日	文字の式	直接	問題解決に文字を用いていこうとする態度を養う	・文字は数に比べて抽象度が高く、生徒にとって抵抗感が強い ・中1は半学期、中2は4人学級のため学び合いの時間を設定することが容易ではない	①合同授業において、お互いを認め合い、自分の言葉で説明し伝え合う数学的活動を通して、深い納得を与えられるように展開する ②中1～中4が同じ学習問題を考えて話し合うことで、様々な考え方があることを実感させて学習意欲につながる	・2回目ということもあり、積極的に意見を発表することができた ・普段とは異なる多人数による学習を通して、多様な考え方があることに気付くことができた ・学年の異なる生徒の意見を聞くことで、自分の学習がどのようなにつながっていくか見通しと興味をもつことができた	○	○	○

総合

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び	対話的な学び	深い学び	
9月24日	キャリア	直接	ゲストティーチャーの話を聞いて、将来に必要な資質能力を考える	・日本の職業人の話を聞きたい ・友達の意見を聞きながら仕事に必要な資質能力について考えを広めたい	①日本の職業人（薬剤師）にゲストティーチャーとしてzoomで授業に参加してもらう ②ゲストティーチャーに実際に体験したビジネスシーンを取り上げてもらい、どのように対応すべきを検討する ③AC校の中学部1・2年生も共に参加し、幅広い意見に触れられるようにする	・ゲストティーチャーの話から仕事の概要ややりがい、苦労を知ることができた ・ビジネスシーンの検討を多人数で行うことで、様々な視点の意見が出て生徒の視野が広がった	㊦	○	○ ㊦	㊦
10月1日	キャリア	直接	ゲストティーチャーの話を聞いて、将来に必要な資質能力を考える	・日本の職業人の話を聞きたい ・友達の意見を聞きながら仕事に必要な資質能力について考えを広めたい	①日本の職業人（フリーランス）にゲストティーチャーとしてzoomで授業に参加してもらう ②ゲストティーチャーに実際に体験したビジネスシーンを取り上げてもらい、どのように対応すべきを検討する ③AC校の中学部2・3年生も共に参加し、幅広い意見に触れられるようにする	・ゲストティーチャーの話から仕事の概要ややりがい、苦労を知ることができた ・ゲストティーチャーへの質問を通して、仕事への考え方を学べた ・ビジネスシーンの検討を生徒も教師もゲストティーチャーも全員で関を極めながら行うことで、様々な視点の意見が出て生徒の視野が広がった	㊦	○ ㊦	㊦	㊦ ○

美術

実施月日	単 元	合同学習形態	目的	状況	手立て	結果	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
8月19日	篆刻	間接	作品の良さを発信・鑑賞すること で、篆刻の良さに気付く	自分の作品の良さを伝えたいが、同 級生が少ない（いない）	自分の作った篆刻の様々なカットの 写真と、作品の工夫点や良さを書い たものをAC校の同級生に見てもらう	・頑張ったところを評価してもらえたこと で、篆刻への関心や自分の作品への愛着が 高まった	◎		○
9月28日	飾り文字BOX	間接	作品を鑑賞することで、飾り文 字の良さに気付いたり、自らの 工夫の幅を広げる	飾り文字のレイアウトについて、な かなかイメージが膨らまない	作成前にAC校の作品を鑑賞する	・飾り文字の工夫の仕方について、友達の 作品を見ることでイメージが広がった ・飾り文字の良さに気付き、活動への意欲 が高まった	◎	◎	